

令和元年度 異文化研修Ⅱ（米国）

（8日目）

健康栄養学科は、エレンスバーグのCWU (Central Washington University)へ移動し、Professor Geeをはじめ、関係の方々に温かく迎え入れていただきました。

両国の栄養問題・管理栄養士養成について両校の教員がプレゼンテーションを行い、学生からの質問も活発で充実したディスカッションが行われました。

その後、CWU 管理栄養士養成課程の学生と一緒に、日本・米国の料理を作りました。本学学生とCWU 学生と一緒に材料を買いに行き、一緒に料理をすることで学生間の活発な交流ができた様子でした。日本料理は、ちらし寿司・お花の巻き寿司・味噌汁・いちご大福を、米国料理は、コブサラダとオープンフライドチキン(胸肉を使用し、オープン調理にすることで大幅にカロリーと脂質のカットがされたもの)を作りました。

CWUの学生と一緒に、英語で説明をしながらの調理は大変だったと思いますが、しっかりと最後までやり遂げてくれました。大きな経験になったことと思います。

看護学科はシアトルへ移動し、シアトル小児病院とシアトル大学臨床能力研究所を見学しました。

学生たちは充実した施設、設備に感動し、たくさんの質問をしていました。施設見学の後は、シーフードディナーを満喫し、シアトルの夜景を鑑賞しました。



健康栄養学科 クッキング交流の様子



看護学科 シアトル小児病院見学の様子